

あきたへ、あなたも、あしたから

# Aターン情報誌 あきた日和

AKITA BIYORI

発行／(財)秋田県ふるさと定住機構

## Aターン インタビュー

株式会社ヤマダフーズ

赤川 巧さん

「もともと大学院在学中、地元秋田で求人を探していました。希望とする職種が当時はなかったことから県外に就職したこともありましたが、決まったときの喜びはひとしおでした。」

Aターン者採用企業の紹介

**株式会社ヤマダフーズ**

Aターン専用求人が  
ホームページからご覧になれます!

秋田の「今」がよく分かる

**あきた A・LA・CARTE**

注目!の秋田人

秋田プロバスケットボールチームをつくる会 事務局長 水野 勇気 さん

INFORMATION

平成20年度

第2回「Aターン就職面接会」を開催します

2008  
**秋号**

vol.43

# いつかは、秋田で

赤川さんは横手市生まれの35歳。Aターンに登録したのは10年前のことだったそうです。

「千葉の醤油醸造会社に勤務していました。仕事には満足していたのですが、いずれ帰郷して地元で暮らしたいと考えていました。」

上京後、東京でAターン説明会があることを知り、資料を取り寄せて登録を済ませた赤川さんですが、その後前職が充実し始めたこともあり、Aターンのことをすっかり忘れてしまっていたそうです。

## リクエスト制度

そんな赤川さんに転職が訪れたのは今年の11月。Aターン登録時に希望職種を登録することで利用できる「リクエスト制度」によって、ヤマダフーズからAターンプラザを通じ、赤川さんと「是非お会いしたい」とお声がかかりました。ヤマダフーズといえば秋田では知らない人がいない老舗企業。職務も食品開発研究ということで、現職のスキルと知識をフルに生かせること、赤川さんの「いつかは地元で仕事がしたい」という気持ちに火が付きました。さっそく面接に望み、見事合格を果たします。

「もともと大学院在学中、地元秋田で求人を探していました。希望とする職種が当時はなかったことから県外に就職したこともありましたが、決まったときの喜びはひとしおでした。」



**赤川 巧さん** 株式会社ヤマダフーズ 食品開発研究所研究員

昭和48年生まれ 横手市出身  
東北大学大学院農学部生物化学科卒業  
千葉で醤油醸造会社に勤務後、平成20年5月から現職に従事。

# A TURN Interview

データで見る

## 秋田の暮らし

### TIME編



### MONEY編



## 株式会社ヤマダフーズ

秋田県仙北郡美郷町野荒町字街道の上279番地  
昭和29年9月創業。昭和43年3月会社設立。秋田と茨城に工場を持ち、秋田本社以外に仙台と東京、大阪に営業所を持つ。平成18年、横手市内にレストラン「遊心庵」をオープンさせ、豆腐、豆乳、ヨーグルトの製造と販売を行う。日本国内のみならず、韓国や中国、ヨーロッパ諸国、中近東、アフリカでも販売を行う。資本金1億5730万円。

## 秋田への恩返し

現在は食品開発研究所で、大豆という素材の可能性を模索しながら新商品の開発に取り組んでいる赤川さん。実家で親御さんと同居しながら、休みの日は同級生や親戚とバーベキューなどをして過ごす時間が多くなったそうです。

「快適に過ごしています。もともと生まれ育った土地ですし、やっぱり落ち着きます。」

今後の目標は新商品・技術開発のみならず、製造工程や設備面でも貢

献していくこと。

「健康食品としても人気の高い納豆は開発競争の激しい食品です。大豆の栄養価と機能面にも一層の注目が集まると思いますし、これからの動向が楽しみです。」

Aターンを希望する人達に、なにかメッセージはありますか？

「求人票に書かれていることだけでは分からないこともたくさんありますので、やはり足を運んでみるのが一番だと思います。何度も会社を訪れてみてはどうでしょうか。転職は自分の人生を左右することです

し、環境や内容など、納得したうえであればその後の仕事との向き合い方も大分違ってくるのかもしれない。」

今後の目標を教えてください。

「大学で学んだ微生物という命の不思議。複雑で多様な生命体の助けを借りて私たちの食生活を豊かにする日本の発酵文化。それをにう研究者の一人として自分を育ててくれた地元秋田に恩返しができるがいいですね。」

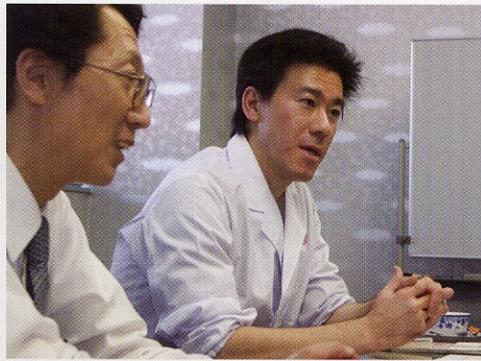
いつかここでオリジナル商品を作ってみたい。

「こんなのはどうだろう、と考えている時間も楽しいです。」

と話す赤川さん。生まれ育った横手は、納豆発祥の地ともいわれる土地。横手盆地一帯が戦場となった後三年の役(1083~1087)で農民に煮豆をわらに詰めて供出させたところ、偶然にも生まれた食べ物だといわれています。

「生まれた場所にそういったいわれがあって、たまたま自分も職業としてその物語にたざざわることになった。これからは自分が持っている技術や知識をいかして、会社と地域に貢献していければと思います。」

と笑顔で話してくれました。これからの活躍が期待されます。



## A ターン 採用 を 語る



株式会社ヤマダフーズ  
管理部 総務課  
小西 恭司さん

▶赤川さんを採用した理由を教えてください。

経験とバックグラウンドを重視しました。大学でも専門的な研究をしていたこと、発酵食品の開発業務に携わっていたことなど、当社が必要としていた人材にぴったり一致したことです。即戦力となって当社に貢献して下さるだろうと判断しました。

▶赤川さんにこれから期待することは？

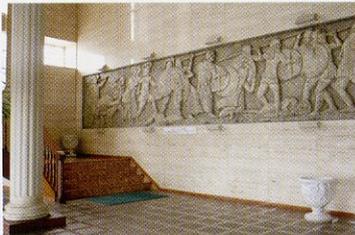
納豆は大豆に納豆菌を接種して作られるわけですが、当社には独自開発した納豆菌が数種類あります。納豆の臭いが気になる方々や、脳卒中や心筋梗塞の予防にも役立つと言われているナットウキナーゼの活性が通常のもの5倍のものなど、食品の機能性に注目が集まる今、様々なニーズに対応できる製品を作っていきたいですね。原料となる大豆は味噌や醤油といった和食の基本になるものですし、当社の製品が日本の食文化に貢献できるよう、赤川さんの専門知識をいかしてぜひともご尽力ください。

自然の恵みを科学する  
株式会社ヤマダフーズ

社名 / 株式会社ヤマダフーズ  
住所 / 秋田県仙北郡美郷町野荒町字街道の上279番地  
HP / <http://www.yamadafoods.co.jp>  
ISO9001:2000取得

1954年秋田県で誕生したヤマダフーズは、「食文化の創造を通して社会に貢献する」をスローガンに、納豆製造に留まらず、豆乳や豆腐、豆乳ヨーグルトなど、大豆を原料としたヘルシーフード製造へと活躍の場を広げております。

全世界的な食糧問題から、生活習慣病、メタボリック症候群など人類を取り巻く問題は年々深刻さを増しております。こうしたなか、すぐれた植物性たんぱく質である大豆加工食品は、その効能や栄養素によってますます注目を集めております。私どもは、企業活動を通して全人類の健康な食と未来の一端になうべく、日々邁進しております。



本社エントランス  
社屋に入ってすぐに目に入る、壁画「神々と巨人との戦い」



本社事務所受付  
シンボルマークが出迎えます。



本社事務所廊下  
廊下は青い空と雲をイメージしています。



本社事務所リフレッシュコーナー  
雲のオブジェに囲まれて、雲をイメージした曲線が美しいベンチでリフレッシュできます。

- 本社工場 敷地面積 25,444㎡ 工場建築面積 11,722㎡  
秋田県仙北郡美郷町野荒町字街道の上279番地  
有機JAS認定工場 従業員数 194名(パート含む)
- 茨城工場 敷地面積 60,902㎡ 工場建築面積 9,252㎡  
茨城県牛久市奥原町字塙台1753番地  
有機JAS認定工場 従業員数 146名(パート含む)
- 遊心庵 敷地面積 10,814㎡ 工場建築面積 4,283㎡  
秋田県横手市平鹿町浅舞字中東144  
有機JAS認定工場 従業員数 99名(パート含む)
- 仙台営業所 宮城県仙台市若林区卸町東一丁目3-7  
従業員数 7名
- 東京営業所 東京都足立区鹿浜2-3-9  
従業員数 12名(パート含む)
- 大阪営業所 大阪府大阪市東淀川区東中島1-6-14第二日大ビル2F  
従業員数 4名(パート含む)



商談コーナー



創立50周年記念事業として横手市浅舞に設立した匠の味工房「遊心庵」。豆乳、豆腐、豆乳ヨーグルトなど大豆加工食品を中心とした製造を行い、脱・納豆の礎となる。



遊心庵に併設したレストラン。  
中華菜膳と地産地消を融合させた、こだわりのメニューが揃う。



納豆のラインナップ  
寿司チェーンや、スーパー、コンビニで  
使用される業務用納豆は業界ナンバーワン  
のシェアと品質で、定評がある。



納豆発祥 秋田の味  
おはよう納豆



茨城工場 納豆の大消費地域であり、納豆の本拠地でもある関東市場に本格的な参入を果たした。原料搬入から製品出荷までを160mの直線ラインで一本にした最新鋭の合理化工場。

# Aターン専用求人が ホームページからご覧になれます!

..... 毎週水曜日更新予定 .....

平成20年4月からAターンプラザ秋田が無料職業紹介所(05-地-000001-002)となり、直接Aターン専用求人への受理や職業あっせんを行っています。

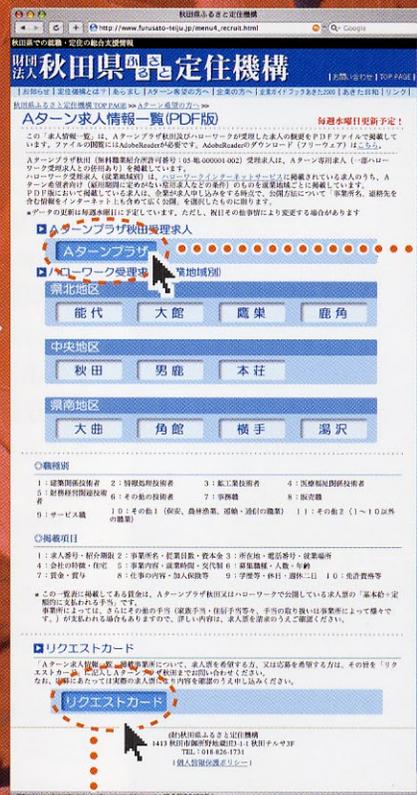
ふるさと定住機構のホームページで、ハローワーク受理求人に加え、Aターンプラザ秋田受理求人の概要もダウンロードできるようになりました。

今後も求人開拓を強化し、Aターン求人の充実に努めますので、是非ご利用ください。

## ◎無料職業紹介所とは...

厚生労働省の認可を受け、求人者と求職者の間を取り持つて、雇用関係が円滑に成立するよう第三者として無料でお世話のできる機関をいいます。

<http://www.furusato-teiju.jp/>



## Aターン専用求人

求人情報一覧表

求職者番号	職業	業種	職種	勤務地	勤務時間	給与	休日	備考
05-000001-002-001	事務	製造業	事務	秋田	9:00-17:00	15万	月2回	...

求人情報一覧表

求職者番号	職業	業種	職種	勤務地	勤務時間	給与	休日	備考
05-000001-002-002	接客	接客業	接客	秋田	9:00-17:00	15万	月2回	...

求人情報一覧表

求職者番号	職業	業種	職種	勤務地	勤務時間	給与	休日	備考
05-000001-002-003	製造	製造業	製造	秋田	9:00-17:00	15万	月2回	...

## リクエストカード

リクエストカード

「Aターン専用求人情報一覧」掲載事業所について、求人票を希望する方は、その旨を「リクエストカード」に記入しAターンプラザ秋田までお問い合わせください。

【請求先】 〒102-0093 東京都千代田区千代田二丁目3番3号 都立労働センター7階 Aターンプラザ秋田(後援:職業安定所内)

【電話】 フリーダイヤル 0120-22-1111 (受付時間: 9:00-17:00)

【FAX】 FAX 03-5212-0116

【Eメール】 aturn@teiju.jp

※電話・メールでの請求の際は、下記番号に必ずお電話ください。

1. 性別  男  女

2. 年齢  歳

3. 職業

4. 希望する職種

5. 希望する勤務地

6. 希望する勤務時間

7. 希望する給与

8. 希望する休日

9. その他

10. 希望する求人番号

11. 希望する求人番号

12. 希望する求人番号

13. 希望する求人番号

14. 希望する求人番号

15. 希望する求人番号

16. 希望する求人番号

17. 希望する求人番号

18. 希望する求人番号

19. 希望する求人番号

20. 希望する求人番号

Aターン求人情報一覧掲載事業所について、求人票を希望する方、又は応募を希望する方は、その旨を「リクエストカード」に記入しAターンプラザ秋田までお問い合わせください。なお、応募に当たっては実際の求人票により内容を確認のうえ申し込みください。

**bjリーグを秋田の人に見てもらいたい。そこで生まれる一体感、興奮と感動。スポーツビジネスの多角的な可能性を拡げて人と人をつなぐ役割ができれば...**



# 注目!の秋田人



## 秋田プロバスケットボールチームをつくる会 事務局長 水野 勇気さん

東京都出身 国際教養大学在学中に1年間交換留学生として滞在したオーストラリアでスポーツマネージメントを学ぶ。「秋田にプロスポーツチームを」という思いから2008年6月「秋田プロバスケットボールチームをつくる会」を発足。同年9月23日、秋田では初となるbjリーグ(プロバスケットボールリーグ)を開催。

URL : <http://akita-probasketball.com/>



2008年9月、新潟アルビレックスBBと仙台89ERSを招き、秋田初のプロバスケットボールプレシーズン試合が行われました。3,000人の集客となったこのイベントを企画・運営したのが、去年国際教養大学を卒業した水野勇気さんでした。

水野さんは東京都出身。小学生の時は野球、中学・高校時代はバスケットボール部に所属しましたが、決して上手な選手ではなかったと言います。「それでも練習の中で生まれる仲間との連帯感や試合での達成感など、バスケットボールというスポーツを通じて学ぶものは大きかったです。」

次第に水野さんはスポーツをビジネスとして捉え、経営の方法を学ぶ学問「スポーツマネージメント」に興味を持ち、アメリカへの留学を夢見るようになります。高校卒業後、水野さんは憧れの地アメリカはシアトルへ。そこで目にしたものは、どんなに小さな町でも地元チームを持ち、知らない人同士が気軽に試合について語り合う、生活に密着したスポーツの存在でした。帰国したのちも「本場でスポーツマネージメントを勉強する」という気持ちに変わりはなく、留学に向けて資金準備をしていたそうです。そんな時、秋田に国際教養大学が開校されます。授業は全て英語で行われ、ビジネス

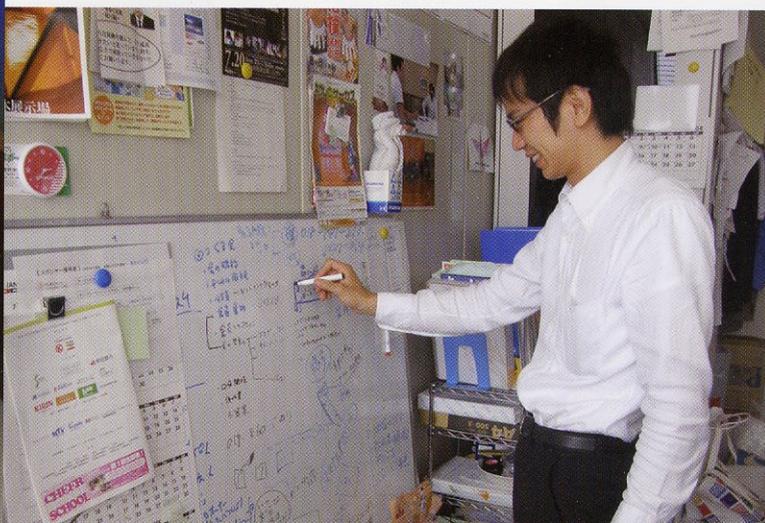
コースがあること。更に一年間の交換留学システムがあると聞き、入学試験に挑みました。結果は見事合格。こうして秋田との縁が始まりました。

在学中、交換留学生として過ごしたオーストラリアのグリフィス大学で念願のスポーツマネージメントを専攻。ここでもやはりスポーツは深く人々の生活に浸透し、天気の話をするように、まるで家族のように選手について語り合う人達。もしこの状況が秋田にあるとしたらそれは何のスポーツだろう?ふとよぎった考えに、水野さんの出した答えは一つでした。

「秋田だったらバスケットボールだ。」

もともと秋田はバスケットボール王国と呼ばれる土地。能代工業高校や秋田ISUZUのバスケットボールチームの名声は広く日本中に知られています。

「それなのに秋田にはプロバスケットボールチームがない。そのギャップに驚いた。だから、自分で作りたと思いました。」



帰国後、そうした考えを周囲の人達に伝える水野さんの回りに、一人、二人と賛同者が現れ始めます。いつしか夢が現実のものとして動き出しました。

協力者、支援者と共に会を発足したのが2008年6月。3カ月後の9月にはbjリーグ初の秋田凱旋試合が決定。企画、運営、資金繰りと全てが始めての試みでしたが、やる、と言ったからには待ったはかけられない。実行委員会と共に、日々あふれるような業務に忙殺される毎日だったそうです。いよいよ

# 秋田さバスケット



ボランティアスタッフとともに、秋田市内で行われたチャリティウォークに参加。



試合当日のオープニングセレモニーからハーフタイムの演出まで全てを企画。ダンススタイルクター阿部美音子率いるダンスチーム「ZONE」の登場で会場は沸き立った。



試合当日の朝、会場前にはチケット予約をした3,000人のファンと当日券を求める長蛇の列が並んでいました。

「その時点でもまだ、圧倒されたり、感動したりする時間がないくらいに走り回っていたのを覚えています(笑)。」

オープニングが始まり、ようやく席についた水野さん。

「真っ暗になった会場にライトが浴びせられ、うなるような歓声が聞こえたときに『ああ、やっど』と思いました。」

割れんばかりの歓声とお客さんのノリのよさは、これまでに見たどの試合よりも大きく、会場は熱気で溢れかえっていました。

「秋田はやっぱり、バスケットだ。」

秋田にプロスポーツチームを持つことの意義と可能性を、水野さんは全身で感じたといいます。

国体やオリンピックで地元や自国の選手が活躍する姿を見ると、自然と応援する気持ちが湧き出て皆の気持ちがひとつになる。憧れや夢を実現している人々がいて、その姿はいつしか自分の目標に変わる。そんな存在が身近に、ここ秋田にあるということは、地元の活性化にもつながるのではないかと水野さんは考えます。

「来年の6月までにリーグの審査基準をクリアして、2010年からの参入を目指すことができるように頑張っています。今回のプレシーズン試合の成功は優秀なスタッフや多くの協力者の皆さんの助けがあってはじめて成しえたことです。本当に皆さんに感謝しています。」

このイベントをバネにして、より一層の飛躍をしたいと力を込めて話してくれました。

## 登録者連絡用はがき

必要事項をご記入の上個人情報保護シールを記入欄の上に貼りご投函ください。

### ■住所変更連絡欄（変更後の住所等を記入）

〒 -

☎

### ■封筒の種類（どちらかに○印）

白封筒  定住機構の名前入り封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や求人情報などの資料請求、または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたら、お気軽にお寄せください。

氏名 登録番号 -

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

登録住所 〒 -

☎